技術士による

夏休み

東日本大震災
復興支援

子ども理科実験教室 2022 京都 滋賀 福島

報告書

THE SCIENCE SCHOOL for Youth

主催 京都技術士会理科支援チーム

後援 京都市教育委員会 / 京都府教育委員会
東近江市 / 滋賀県教育委員会
会津坂下町教育委員会 / 会津若松市教育委員会
会津美里町教育委員会 / 喜多方市教育委員会
柳津町教育委員会 / 湯川村教育委員会
大熊町教育委員会

助成 独立行政法人国立青少年教育振興機構「子どもゆめ基金」

あつまれ！京 わくわくのトビラ
MIYAKO WAKUWAKU NO TOBIRA

National Institution For Youth Education
独立行政法人 国立青少年教育振興機構
「子どもゆめ基金助成活動」

体験の風をおこそう

京都技術士会

http://kyoto-pe.com/rst/rst.html

ご　挨　拶

私たち京都技術士会理科支援チームは、日本の目指す科学技術立国の将来を支えるのは、現在の子ども達であり、その主役となる理系の子どもを育てることについて、我々技術士には応分の役割があると認識して、2006年から子ども理科実験教室を開催しています。また、東日本大震災以降の翌年2012年からは、その復興を支援すべく、被災地でこの活動を行っています。

今年も、京都市・東近江市・向日市教室、また東日本大震災支援活動としては、福島県河沼郡会津坂下町で教室を開催しました。これらのチームの活動に加え、会員による数多くの個別活動も行いました。また、大阪市教育委員会主催の小学校理科特別授業にも積極的に参加し、活発な活動ができました。

新型コロナ感染症に対する社会的認識の変化を受け、感染対策をしっかり講じた上で、参加者人数を、ほぼコロナ禍前に戻した教室運営としました。各会場は活気に溢れ、延べ697人もの子ども達が、講師による手作りの理科の実験や工作に熱心に取り組み、参加者の笑顔と歓声が忘れられない時間となりました。また、日本技術士会 科学技術振興支援委員会主催・理科実験事例発表会にも参画しました。

後援いただいた各開催地の教育委員会、援助いただいた助成機関はじめ、ご協力いただいた各位に謝意を表しますとともに、以下に概要を報告します。

補　注

【技術士について】

「技術士」は国家試験に合格し、登録した人だけに与えられる資格です。科学技術に関する高度な応用能力を備えていることを、国が認定する称号です。

【京都技術士会と理科支援チーム】

京都技術士会は、技術士資格を持つ技術者を主として構成する任意団体です。約200名の会員が京都を本拠に活動しています。その会員の内、有志約60名が理科支援チームとして活動、毎年理科実験教室を開催しています。

【東日本大震災復興支援子ども理科実験教室について】

震災後に義援金を募り、日本赤十字社に贈りました。翌年からは、現地の子ども達に、互いの顔が見える直接的な支援をしていこうと、東北3県で理科実験教室を開催しています。



2023年3月

京都技術士会理科支援チーム

京都-1 夏休み子ども理科実験教室 ●会場/ひと・まち交流館 京都 第4・5会議室 大会議室 注)1・2・7

開催日	時間帯	テーマ	講師(技術士)	参加者数(子ども)
Aコース 7月23日(土)	10:00〜11:10	とびだす絵をかこう(webオンラインサテライト方式で実施)	仲矢順子	26人
	11:20〜12:30	電球を作ろう	服巻博史	26人
Bコース 7月23日(土)	13:40〜14:50	色と光のふしぎな関係	萩原祥行	27人
	15:00〜16:10	小さな電子オルゴールを作ろう	瀬戸山英嗣	27人
Cコース 7月23日(土)	10:00〜11:10	ぶんせきしてみよう	伊藤玄	19人
	11:20〜12:30	うるさい音を消すには	深田晃二	19人
Dコース 7月23日(土)	13:40〜14:50	酸性、アルカリ性を調べよう	野田公彦	22人
	15:00〜16:10	あひるのがっしょう	加藤直樹	22人

京都-2 夏休み子ども理科実験教室 ●会場/ひと・まち交流館 京都 第4・5会議室 大会議室 注)1・2・7

開催日	時間帯	テーマ	講師(技術士)	参加者数(子ども)
Eコース 8月6日(土)	10:00〜11:10	タワシムシをつくろう	桶屋眞士	27人
	11:20〜12:30	手づくりマイクをつくろう	千田琢	27人
Fコース 8月6日(土)	13:40〜14:50	電子オルガンを作ろう	二村光司	27人
	15:00〜16:10	おいしい水をつくってみよう	橋本隆	27人
Gコース 8月6日(土)	10:00〜11:10	微生物ではっこうさせよう	堤浩子	27人
	11:20〜12:30	オリジナルバッグをつくろう	安田稔	27人
Hコース 8月6日(土)	13:40〜14:50	レモンでみがこう	森隆司	26人
	15:00〜16:10	ブーメランをとばそう	和田仁	26人

東近江 夏休み子ども理科実験教室 ●会場/滋賀県東近江市 西堀榮三郎記念探検の殿堂 注)3・4・7

開催日	時間帯	テーマ	講師(技術士)	参加者数(子ども)
Iコース 7月30日(土)	10:00〜11:10	音と楽器の科学	田中宏	23人
	11:20〜12:30	地震はどうしておきるの?	竹内篤雄	23人
Jコース 7月30日(土)	13:40〜14:50	ものの周りの流れの力	森啓充	28人
	15:00〜16:10	電気自動車をつくろう	柴田究	28人

会津 東日本大震災復興支援 子ども理科実験教室 ●会場/福島県 会津自然の家 第1研修室 注)5・7

開催日	時間帯	テーマ	講師(技術士)	参加者数(子ども)
会津Aコース 10月8日(土)	10:00〜11:10	電子楽器(オルガン)をつくろう	二村光司	19人
	11:20〜12:30	酸性、アルカリ性をしらべよう	野田公彦	19人
会津Bコース 10月8日(土)	13:00〜14:10	タワシムシをつくろう	桶屋眞士	22人
	14:20〜15:30	ぶんせきしてみよう	伊藤玄	22人
会津Cコース 10月9日(日)	10:00〜11:10	キラキラのステンドグラスをつくろう!	加藤直樹	28人
	11:20〜12:30	手作りマイクをつくろう	千田琢	28人
会津Dコース 10月9日(日)	13:00〜14:10	音と楽器の科学	田中宏	12人

向日市 ふしぎ発見!理科教室 ●会場/京都府向日市 寺戸公民館 注)6

開催日	時間帯	テーマ	講師(技術士)	参加者数(子ども)
6月25日(土)	10:30〜12:00	光る生物の不思議	黒田誠	15人
7月31日(日)	10:30〜12:00	天気がわかる?ふしぎな結晶	和田直之	12人
8月27日(土)	10:30〜12:00	水のように動く砂	山本裕之	12人
9月24日(土)	10:30〜12:00	しんどうして電気も作れるふしきなやき物	大西一市	4人

計697人

注1)京都市教育委員会後援　注2)京都府教育委員会後援　注3)東近江市後援　注4)滋賀県教育委員会後援　注5)会津坂下町教育委員会/会津若松市教育委員会/会津美里町教育委員会/喜多方市教育委員会/柳津町教育委員会/湯川村教育委員会/大熊町教育委員会後援　注6)向日市中央公民館主催　注7)独立行政法人国立青少年教育振興機構「子どもゆめ基金」助成

京都 I　2022年7月23日（土）夏休み子ども理科実験教室

●会場/ひと・まち交流館 京都 第4・5会議室 大会議室

A コース

10:00 ～ 11:10

「とびだす絵をかこう」

仲矢順子 技術士（建設部門、森林部門）

赤青メガネをつかって、とび出して見える絵をかいてみよう。

11:20 ～ 12:30

「電球をつくろう」

服巻博史 技術士（機械部門）

シャープペンシルの芯を使ったカーボン電球に、
電流を流すことで電球が光るしくみを知り、発光の原理を学びます。

子どもたちの声

とびだしてみえるしくみがよく分かりました。えをかくのもたのしかったです。教え方が分かりやすかったです。今日はじめて知ったことがいっぱいあったのでたのしかったです。

自分でつくった電球が光って、発明したときのような気持になりました。

B コース

13:40 ～ 14:50

「色と光のふしぎな関係」

萩原祥行 技術士（電気電子部門）

光の3原色、赤、緑、青のLED（エルイーディー）をつかって
色と光の関係をしらべよう。

15:00 ～ 16:10

「小さな電子オルゴールをつくろう」

瀬戸山英嗣 技術士（電気電子部門）

小さなオルゴールをつくって、お出かけしたり、
お友だちときいてみよう。

子どもたちの声

どの先生もやさしくおしえてくれてよかった。光の３げん色という名前はじめてしれたのでうれしかった。新しく覚えたことばは、生活にもつかえると考えた。オルゴールは、学校の出すものにつかえると思った。ぜひまた教えてほしい。ぜんぶいろいろとたいせつにしようと思った。

オルゴールを作ってみたりして仕組みを知ったりすることができたのでよかったです。






京都 I　2022年7月23日（土）夏休み子ども理科実験教室

●会場/ひと・まち交流館 京都 第4・5会議室 大会議室

C コース

10:00 ～ 11:10

「ぶんせきしてみよう」

伊藤玄 技術士（化学部門）

サインペンのいろがどのように分かれるか、
ろ紙をつかって実験やクイズをしながら分析していきます。

11:20 ～ 12:30

「うるさい音を消すには」

深田晃二 技術士（衛生工学部門）

ストローで草笛のように音を出す。また、紙笛で音を出す。
皆で縦波を体験し、消音箱の効果を耳で体験します。

子どもたちの声



ぶんせきの水につけてペンの色をにじませることを知れておぼえられたから家でやろうと思いました。またじっけんをしていえでやりたいです。

音のべんきょうでふえをつくってむっちゃたのしかった。

D コース

13:40 ～ 14:50

「酸性、アルカリ性を調べよう」

野田公彦 技術士（化学部門、総合技術監理部門）

身のまわりのものを水に溶かし、どんなものが酸性かアルカリ性かを調べ、
水と環境の大切さを学びます。

15:00 ～ 16:10

「あひるのがっしょう」

加藤直樹 技術士（機械部門）

糸で音の伝わる仕組みを学びます。
糸のしんどうで「あひるの声」をだして、がっしょうしましょう！

子どもたちの声



さんせいアルカリせいをしらべようのじっけんのときは、いろいろな色がつくれてとてもうれしかったです。

あひるのがっしょうでは、ひもをむすぶのがたいへんだったけどがんばってむすべたのでまたらい年もきたいです。









京都 2　2022年8月6日（土）夏休み子ども理科実験教室

●会場/ひと・まち交流館 京都 第4・5会議室 大会議室

Eコース

10:00 ～ 11:10

「タワシムシをつくろう」

桶屋眞士 技術士（建設部門）

タワシとモーターを使って、タワシムシをつくろう。
モーターを回すと虫みたいに動くよ。

11:20 ～ 12:30

「手づくりマイクをつくろう」

千田琢 技術士（機械部門、総合技術監理部門）

ふだんの生活で放送などに使われるマイクをつくり、
さらにそのしくみを学びます。

子どもたちの声

タワシを使った振動で動くおもちゃを作ったり、自分で聞こえるマイクを作ったりして、スタッフの人もくわしくやさしく教えてくれたので、また来てまた違うタイトルの教室もやりたいなと思いました。

タワシムシは掃除に便利だと思いました。電池を入れた数やゴムをつけただけでいっぱい動いた時とそんなに動かなかった時の差がすごかった。

Fコース

13:40 ～ 14:50

「電子オルガンをつくろう」

二村光司 技術士（機械部門、総合技術監理部門）

スピーカーと8個のキー・電子部品を使って、
簡単な電子回路（オルガン）をつくり、音の高さと振動数の関係を学習します。

15:00 ～ 16:10

「おいしい水をつくってみよう」

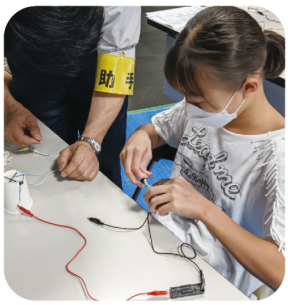
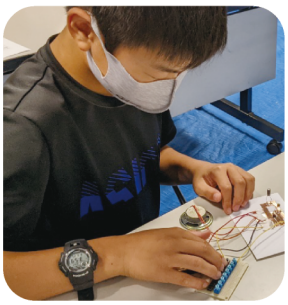
橋本隆 技術士（上下水道部門）

のみ水のつくり方のじっけんをします。

子どもたちの声

電子オルガンは電波がとどいて音がなることがわかりました。

しっかり理科のことを学びながらも面白さもあってよかった。水の大切さと電子のことを知れたので活かしていきたいと思います。


京都2　2022年8月6日（土）夏休み子ども理科実験教室

●会場/ひと・まち交流館 京都 第4・5会議室 大会議室

Gコース

10:00〜11:10

「び生物ではっこうさせよう」

堤浩子 技術士（生物工学部門）

酵母が「さとう」と「しお」のどちらで、ふくらむかを観察します。
容器の中ではっこうして泡が でる様子を観察します。

11:20〜12:30

「オリジナルバッグをつくろう」

安田稔 技術士（化学部門）

白地の布バッグにクレヨンで好きな絵をかいてオリジナルバッグをつくります。
布を虫めがねでかんさつしてつくり方を勉強します。

子どもたちの声

砂糖の方が風船が膨らんでいる。発酵しているのがわかった。微生物も糖を食べてCO2を出して生きていることがわかりました。人間と一緒だとわかりました。

やったことのない実験やバッグづくりができて楽しかった。

Hコース

13:40〜14:50

「レモンでみがこう」

森隆司 技術士（化学部門）

レモンに含まれるクエン酸や皮に含まれるリモネンを利用すると、
落ちにくい汚れでも落とせることを学びます。

15:00〜16:10

「ブーメランをとばそう」

和田仁 技術士（金属部門）

あつ紙からブーメランをつくり、ひろいかいじょうでとばし、
つかまえることができるようにくふうしてみよう。

子どもたちの声

レモンでみがこうでカビを落とすことは知っていたけど、６０年前の10円玉がきれいになったからレモンはこんなことにも役立つとは思っていなかったけど、レモンはすごいと思った。

次も来たいです。なぜ来たいかというとブーメランを初めて飛ばしたからです。









東近江　2022年7月30日（土）夏休み子ども理科実験教室

●会場/滋賀県東近江市 西堀榮三郎記念探検の殿堂

Iコース

10:00〜11:10

「音と楽器の科学」

田中宏 技術士（電気電子部門）

てづくりギターをつくり、
おととがっきのふしぎをしらべてみよう。

11:20〜12:30

「地震はどうしておきるの？」

竹内篤雄 技術士（応用理学部門）

地震が発生する原因について話をし、
プレート模型や砂を使って地震がおきる様子を観察します。



子どもたちの声

音と楽器のひびき方は知っていたけど，げんがっきがどうやって音をかえたり大きさかえたりわからなかったから，よくわかったからよかった。

工作で自分でひけたりするのがよかった。とても日本では地震が多いし、大きな地震の仕組み、対策など、断そうなども勉強できて役に立ちました。

Jコース

13:40〜14:50

「ものの周りの流れの力」

森啓充 技術士（機械部門）

水や空気が流れた時のものの動き（働く力）を観察し、
ボールが曲がる、飛行機が飛ぶなどの理由を考えます。

15:00〜16:10

「電気自動車をつくろう」

柴田究 技術士（電気電子部門）

身近な材料で電気をじゅうでんして走る電気自動車を作り、
電気自動車のしくみについて学びます。

子どもたちの声

空気の流れや水の流れにきょうみがなかったけど理科教室をとおしてきょうみがもてた。車作りも楽しかった。またいってみたい。

何かを作るのがとくいなので楽しくつくれた。未来のことを考えると電気自動車はとても大切でいい勉強になった。また来てみたい。









向日市 ふしぎ発見!理科教室

●会場/京都府向日市 寺戸公民館

6月25日(土) 10:30〜12:00

「光る生物の不思議」

黒田誠 技術士(化学部門)

乾燥ウミホタルを使って、その不思議に触れてみたり、
ノーベル化学賞を受賞した下村脩博士が発見した
「ワンクラゲの蛍光蛋白質(GFP)」についても体験学習していきましょう。

7月31日(日) 10:30〜12:00

「天気がわかる?ふしぎな結晶」

和田直之 技術士(化学部門)

19世紀ヨーロッパで発明された天気予測の道具「ストームグラス」を、
複数の薬品をまぜ合わせて作ります。
ストームグラスの中にできる結晶の観察を通じて、もののとけ方について学びます。

8月27日(土) 10:30〜12:00

「水のように動く砂」

山本裕之 技術士(応用理学部門)

強いじしんの時に地層が水のように動くことがあります。
そのようすやたてものへのえいきょうを実験します。

9月24日(土) 10:30〜12:00

「しんどうして電気も作れるふしきなやき物」

大西一市 技術士(化学部門)

メロディーカードを分解しスピーカ部に、やきものが使われていることを観察します。
そのスピーカをLEDとつなげば光らすこともできます。
このやきものが暮らしの中で広く応用されていることを紹介します。



ウミホタルをすりつぶして水をかけると青く光るところがおもしろかった。

ストームグラスで天気がわかるというのがすごいと思った。また参加したいです。

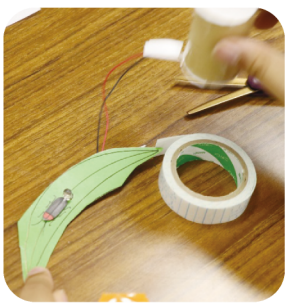
今日、土は土でも液状化しやすい土としにくい土があると知りました。

セラミックスが発電も音も出すこともできることにおどろきました。









会津　2022年10月8日（土）・9日（日） 東日本大震災復興支援 子ども理科実験教室

●会場/福島県 会津自然の家 第1研修室

A コース　10月8日（土）

10:00〜11:10

「電子楽器（オルガン）をつくろう」

二村光司 技術士（機械部門、総合技術監理部門）

スピーカーといくつかの部品を使って、かんたんな回路（電気の通り道）をつくります。そして、音を調節して電子オルガンをつくります。

11:20〜12:30

「酸性、アルカリ性をしらべよう」

野田公彦 技術士（化学部門、総合技術監理部門）

身のまわりのものを水に溶かし、どんなものが酸性かアルカリ性かを調べ、水と環境の大切さを学びます。

B コース　10月8日（土）

13:00〜14:10

「タワシムシをつくろう」

桶屋眞士 技術士（建設部門）

タワシとモーターを使って、タワシムシをつくろう。
モーターを回すと虫みたいに動くよ。

14:20〜15:30

「ぶんせきしてみよう」

伊藤玄 技術士（化学部門）

サインペンのいろがどのように分かれるか、
ろ紙をつかって実験やクイズをしながら分析していきます。

C コース　10月9日（日）

10:00〜11:10

「キラキラのステンドグラスをつくろう!」

加藤直樹 技術士（機械部門）

ひかりの偏光(へんこう)のしくみをしって、
じぶんだけのステンドグラスもようをつくってみよう!

11:20〜12:30

「手づくりマイクをつくろう」

千田琢 技術士（機械部門、総合技術監理部門）

ふだんの生活で放送などに使われるマイクをつくり、
さらにそのしくみを学びます。

D コース　10月9日（日）

13:00〜14:10

「音と楽器の科学」

田中宏 技術士（電気電子部門）

てづくりギターをつくり、おととがっきのふしぎをしらべてみよう。

子どもたちの声

電子楽器は、おもしろい音がでたり、とてもたのしくできました。電池であまりあそんだりしんかったので、よいけいけんをしたと思いました。とてもたのしくおもしろかったです。電池でこんなにおもしろくがっきを作れると分かったのでよかったです。

酸性、アルカリ性をしらべようがたのしかったです。いろんなものをまぜて色がかわったのがおもしろかったです。

タワシであまりあそんだり、タワシで作ろうとは、思ってもしなかったので、良い体験をしたと思いました。ぶんせきは、いろいろな色でやってみてたのしかったです。そして、色が早くに色がおちたり、するということはしらなかったのでとても、おもしろく、しれた体験でした。とてもたのしかった。

【東北教室の実施実績】

第1回 2012年 宮城県 七ヶ浜教室（10/6）、仙台教室（10/7）／第2回 2013年 福島県 会津坂下教室（10/12）、会津若松教室（10/13）
第3回 2014年 福島県 会津若松教室（10/11）、喜多方教室（10/12）／第4回 2015年 福島県 いわき教室（10/10・11）
第5回 2016年 福島県 郡山教室（10/8・9）／第6回 2017年 福島県 郡山教室（10/7・8）、岩手県 大船渡教室（10/28）、陸前高田教室（10/28）
第7回 2018年 岩手県 大船渡教室（7/7）、陸前高田教室（7/8）、宮城県 気仙沼教室（7/8）、福島県 福島教室（10/6・7）
第8回 2019年 福島県 いわき教室（10/12・13）／第9回 2021年 福島県 双葉郡富岡教室（11/20・21）／第10回 2022年 福島県 会津坂下教室（10/8・9）



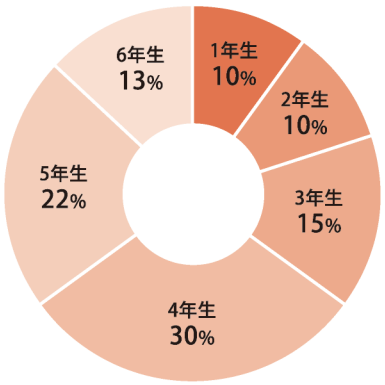




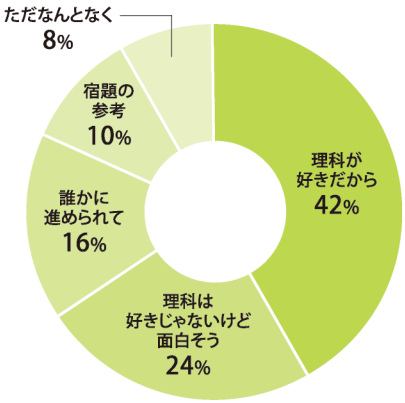


全5教室　京都-1・京都-2・東近江・会津・向日市のアンケート結果（全教室の合計）

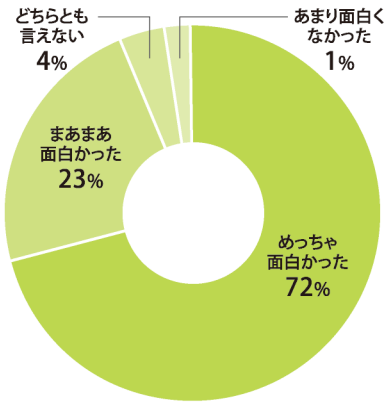
参加者解析（学年別）



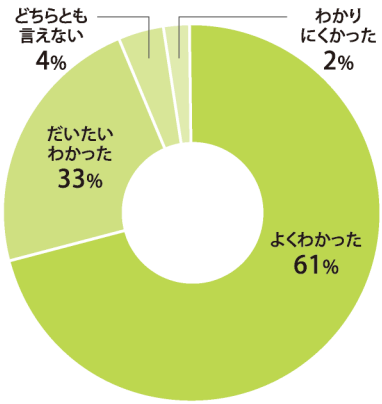
なぜ参加しましたか？（複数回答）



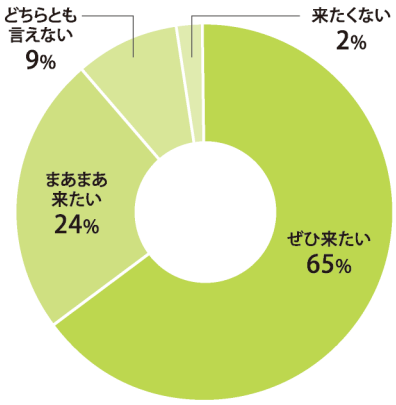
今日の子ども理科実験教室は、面白かったですか？



今日の実験は、わかりましたか？



この教室に、また来たいですか？



同伴保護者の声

- 子供が楽しそうに取り組んでいたので参加させてよかったです。
- こども達の興味関心を大切にしてくださる、素敵な企画でした。
- この様な実験に参加する機会が今まで無かったので、子供にとって良い経験になりました。
- 丁寧に助手の方まで対応して下さって、本格的な内容で論理がわかりました。
- 夏休みにとても良い企画ありがとうございます。参加してとても勉強になりました。次回もお願いします。

APPENDIX 付録

会員の個別活動

開催日	時間帯	会場（イベント名）	テーマ	講師（技術士）	参加者数（子ども）
2月13日（日）	オンラインワークショップで開催（2/13〜2/27）	けいはんな科学体験フェスティバル2022 主催：けいはんな科学コミュニケーション推進ネットワーク（K-Scan）	光と色のふしぎ	加藤直樹 企画：田中宏	100人
2月19日（土）	13：00〜17:00	第６回理科実験事例発表大会 主催：日本技術士会 科学技術振興支援委員会	発表１ 「光と色のふしぎ 〜 発色をあやつる 〜 （YouTube 出展）」	加藤直樹	50人
7月23日（土）	10:00〜12:00 14:00〜16:00	（株）ウェイグッド依頼 わくわく科学実験教室 ウェイグッド滋賀オフィス/京都オフィス	こなってふしぎ スライムもつくれるよ	福原智博 助手：二村光司	20組 （親子で参加）
7月24日（日）	10:00〜12:00	天文実験教室 主催:向日市天文館	月と地球 ーしお（潮／汐）の満ち引きは なぜ１日に２回起きるのかー	岡本秀穂 助手：橋本隆	4人
7月31日（日）	10:00〜10:50	サイエンス・フェス北海道オンライン（zoomで実験教室） 〜青少年のための科学の祭典in北海道2022 主催:科学の祭典in北海道	飛び出す絵をかこう	仲矢順子	11人
9月3日（土）	14:00〜14:50	サイエンス・フェス北海道オンライン（zoomで実験教室） 〜青少年のための科学の祭典in北海道2022 主催:科学の祭典in北海道	飛び出す絵をかこう	仲矢順子	8人
10月22日（土）	10:00〜11:30	京都市立山階小学校 主催:京都市立山階小おやじの会	ものの周りの流れの力	森啓充 連絡係：田中宏	18人
11月4日（金）	14:30〜16:00	サイエンスアゴラ2022 主催：科学技術振興機構（JST） （出展名：日本技術士会 科学技術振興支援委員会）	4-1A14「技術の力で心を震わす理科教室を!」 「シルバニアさんのゼロエネルギーハウス」 （PVパネルと電気分解・蓄電池）	加藤直樹	50人
11月23日（水）	10:00〜15:30	亀岡サイエンスフェスタ　ガレリアかめおか 主催：亀岡市教育委員会 （亀岡市みらい教育リサーチセンター）	「実験・観察でサイエンス」： 水性ペンでアサガオをつくろう! 〜クロマトグラフィ体験〜	伊藤玄 企画運営・助手： 加藤直樹	65人

大阪市理科特別授業

実施日	実施校	学年	クラス数	テーマ	講師（技術士）	児童数（計）
9月16日（金）	清明丘南小学校	6	2	音の不思議	深田晃二	47人
10月4日（火）	鶴橋小学校	6	1	月と太陽	山本裕之	22人
10月11日（火）	市岡小学校	6	3	月と太陽	山本裕之	80人
10月25日（火）	天下茶屋小学校	6	1	水と友達になろう	野田公彦	37人
10月26日（水）	桑津小学校	5	4	流れる水の働き	深田晃二	126人
11月10日（木）・11日（金）	横堤小学校	5	3	流れる水の働き	竹内篤雄	109人
11月11日（金）	深江小学校	5	1	流れる水の働き	深田晃二	36人
11月24日（木）	西大江小学校	6	3	大地のつくりと変化	山本裕之	85人
12月9日（金）〜13日（火）	西船場小学校	6	4	大地のつくりと変化	竹内篤雄	128人
12月16日（金）	粉浜小学校	6	2	てこのはたらき	和田仁	69人

上記以外に、奈良県立奈良高等学校主催の
「けいはんなまほろばSSHサイエンスフェスティバル2022」への協力（高校生の研究発表の審査）を行った

個別活動（参考） 1,065人

【2022年 活動スタッフ（あいうえお順、敬称略）】

[代表] 大西一市　[顧問] 川端正詳　野田公彦

[実行委員庶務グループ事務局]

伊藤博　桶屋眞士　加藤直樹　柴田究　高橋宏和　竹内貞夫　田中秀明　田中宏　堤浩子　仲矢順子　長島義明　橋本隆　服巻博史　二村光司　森啓充　安田稔　山本裕之　和田直之　和田仁

[前出以外の講師、助手ほか協力メンバー]

青山光宏　伊藤玄　浦野桂子　大野一成　岡本秀穂　菊川真利　衣笠正興　黒田誠　小寺宜一　小林英雄　坂元通夫　鈴木次郎　瀬戸山英嗣　千田琢　高見幸二　竹内篤雄　竹田雅信　辻井昌彦　中田将裕　野原英則　萩原祥行　福原智博　開本亮　深田晃二　水田耕市　宮川智　森隆司　森本恵　安井研二　和田信之

京都技術士会理科支援チーム

〒605-0018 京都市東山区三条通大橋東入る巽町 442-9 京都市東山いきいき市民活動センター内
TEL: 080-5330-0022　MAIL: info@kyoto-pe.com　URL: http://kyoto-pe.com